



TICAD30年とJICA

TICAD(ティカッド)とは「Tokyo International Conference on African Development(アフリカ開発会議)」の略。日本とアフリカ、国際社会の指導者が、アフリカ開発のあり方と具体的な取り組みを議論・合意する国際フォーラム。日本政府が主導し、国連、国連開発計画(UNDP)、世界銀行およびアフリカ連合委員会(AUC)と共催で、1993年以降に計8回開催しています。次回第9回目が2025年に日本で開催予定となっています。

TICAD30年の歩み

1993年

TICAD I(開催地:東京)

アフリカ開発にアジアの経験を生かすことを公約した「アフリカ開発に関する東京宣言」を採択。国際社会のアフリカへの関心を呼び戻す会議に。

1998年

TICAD II(開催地:東京)

アフリカ諸国の「自助努力(オーナーシップ)」と、国際社会による開発パートナーとの「パートナーシップ」の重要性を提唱。「東京行動計画」を採択。

2003年

TICAD III(開催地:東京)

TICAD発足10周年。アフリカ連合(AU)が2001年に立ち上げた「アフリカ開発のための新パートナーシップ(NEPAD)」への支援で合意。

2008年

TICAD IV(開催地:横浜)

「元気なアフリカを目指してー希望と機会の大陸」のテーマの下、対アフリカODA倍増などの取り組みを示す「横浜宣言」「横浜行動計画」を採択。

2013年

TICAD V(開催地:横浜)

民間セクター主導の成長、アフリカへの投資の重要性が確認され、5年間で最大3.2兆円の官民の取り組みをアフリカで行うと表明。

2016年

TICAD VI(開催地:ケニア・ナイロビ)

初めてアフリカで開催し、以降は3年ごとの開催に。インフラ整備や強靱な保健システムの促進、平和と安定の基盤づくりなど「未来への投資」を表明。

2019年

TICAD 7(開催地:横浜)

イノベーションを通じたビジネス環境の改善、持続可能で強靱な社会の深化、平和と安定の強化を日本のアフリカ協力の3つの柱に。

2022年

TICAD 8(開催地:チュニジア・チュニス)

アフリカと「共に成長するパートナー」として「人に注目した日本らしいアプローチ」を通じ、強靱なアフリカを目指すことを表明。

2025年 TICAD9(横浜開催)

JICAの取り組み

1979

1979年

■ ガーナで野口記念医学研究所(野口研)への支援をスタート、西アフリカの感染症対策拠点として現在に至る

1993

1993年

■ TICAD Iで地下水開発・水供給拡充及びアフリカ青年招聘の開始が発表される

1998年

■ アフリカにおける稲作支援「ネリカ米」普及支援をスタート
■ ケニアで中等理数科教育強化計画プロジェクト(SMASSE/SMASE)をスタート

1998

2004年

■ スーダン南部(現在の南スーダン)、コンゴ民主共和国、シエラレオネなどで平和構築支援をスタート
■ 「住民参画型学校運営改善計画プロジェクト」(「みんなの学校」の前身)がスタート

2003

2006年

■ アフリカでの「KAIZEN」支援の取り組みがチュニジアでスタート

2008

2008年

■ 「水の防衛隊」構想が提唱され、アフリカで水と衛生に関する課題に取り組むJICA海外協力隊派遣が始まる
■ 国際 NGO のアフリカ緑の革命のための同盟(AGRA)と共同で「アフリカ稲作振興のための共同体(CARD)」を設立

2013

2012年

■ 南スーダンで「フリーダム・ブリッジ」への無償資金協力をスタート、3度の工事中断を経て2022年に完成

2016

2013年

■ 「アフリカにおけるUHC実現に向けた政策枠組み」が打ち出される
■ TICAD Vで「ABEイニシアティブ」の設立が発表される
翌2014年に第1バッジが来日
■ TICAD Vで小規模農家の所得向上(SHEP)アプローチを10カ国に展開すると公約、その後10年で30カ国に拡大

2019

2017年

■ 「アフリカのきれいな街プラットフォーム(ACCP)」が設立
■ TICAD VIで食と栄養のアフリカ・イニシアティブ(IFNA)及びアフリカ・カイゼン・イニシアティブ(AKI)をNEPADと連携して推進することが発表される

2022

2019年

■ 無償資金協力により、ガーナ野口研に「先端感染症研究センター」を建設

2020年

■ 「Project NINJA」がスタート、スタートアップ・エコシステム構築支援の先駆け

新型コロナウイルス感染症・パンデミック

2025

2021年

■ ウガンダ国会で同国北部地域の復興支援を含むJICA協力を称賛する決議を採択

2023年

■ TICAD30周年・ABEイニシアティブ10周年